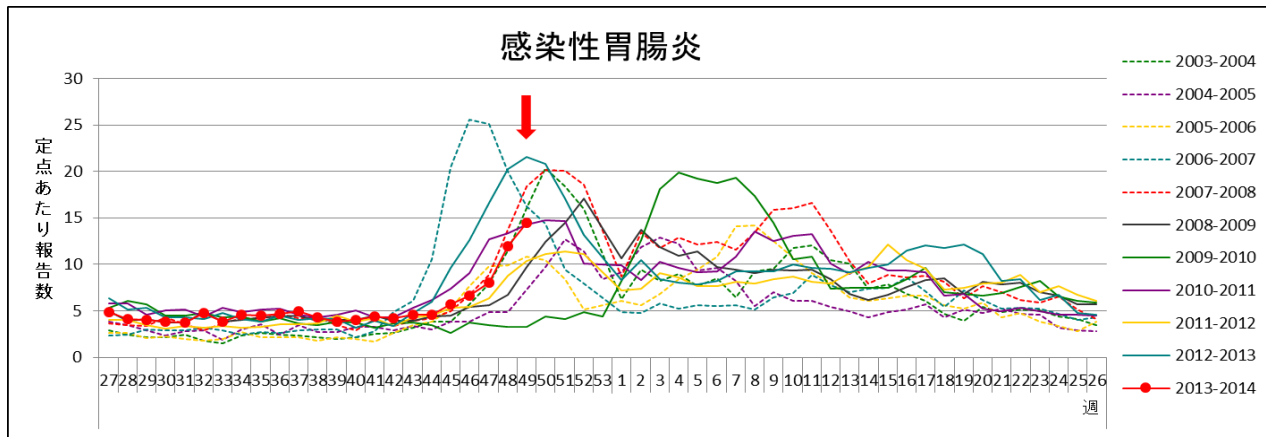
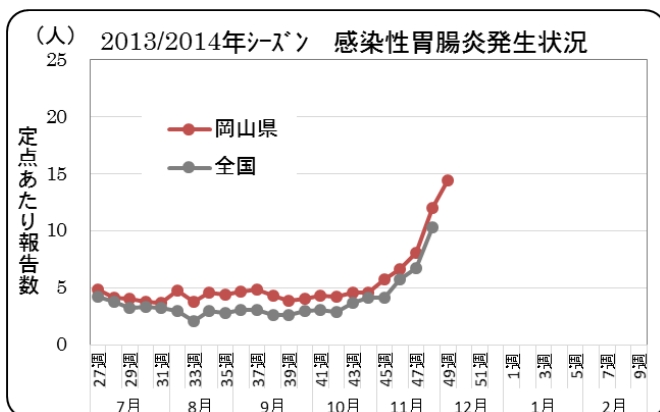


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 49 週 (12 月 2 日 ~ 12 月 8 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 779 名（定点あたり 11.98 → 14.43 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。

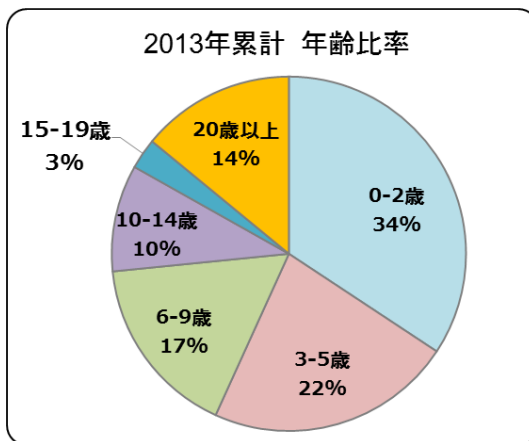
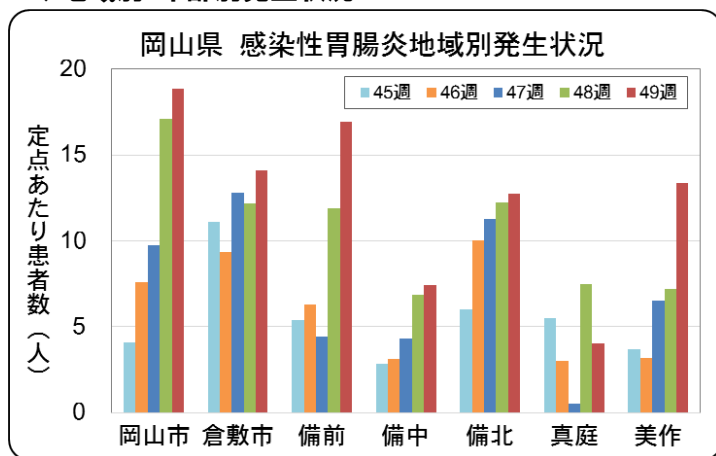


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。



感染性胃腸炎は、県全体で 779 名（定点あたり 11.98 → 14.43 人）の発生があり、前週より増加しました。第 43 週以降報告数の増加が続いており、11 月下旬頃からは増加が大きくなっています。冬の感染性胃腸炎の原因はウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、岡山市（18.86 人）、備前地域（16.90 人）、倉敷市（14.09 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備前地域（11.90 → 16.90 人）、美作地域（7.17 → 13.33 人）で大きく増加しました。備前地域では 2 週連続の大きな増加となっています。

年齢別累計では、0～2 歳の乳幼児が全体の 34% を占めています。

◎感染性胃腸炎が増加しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

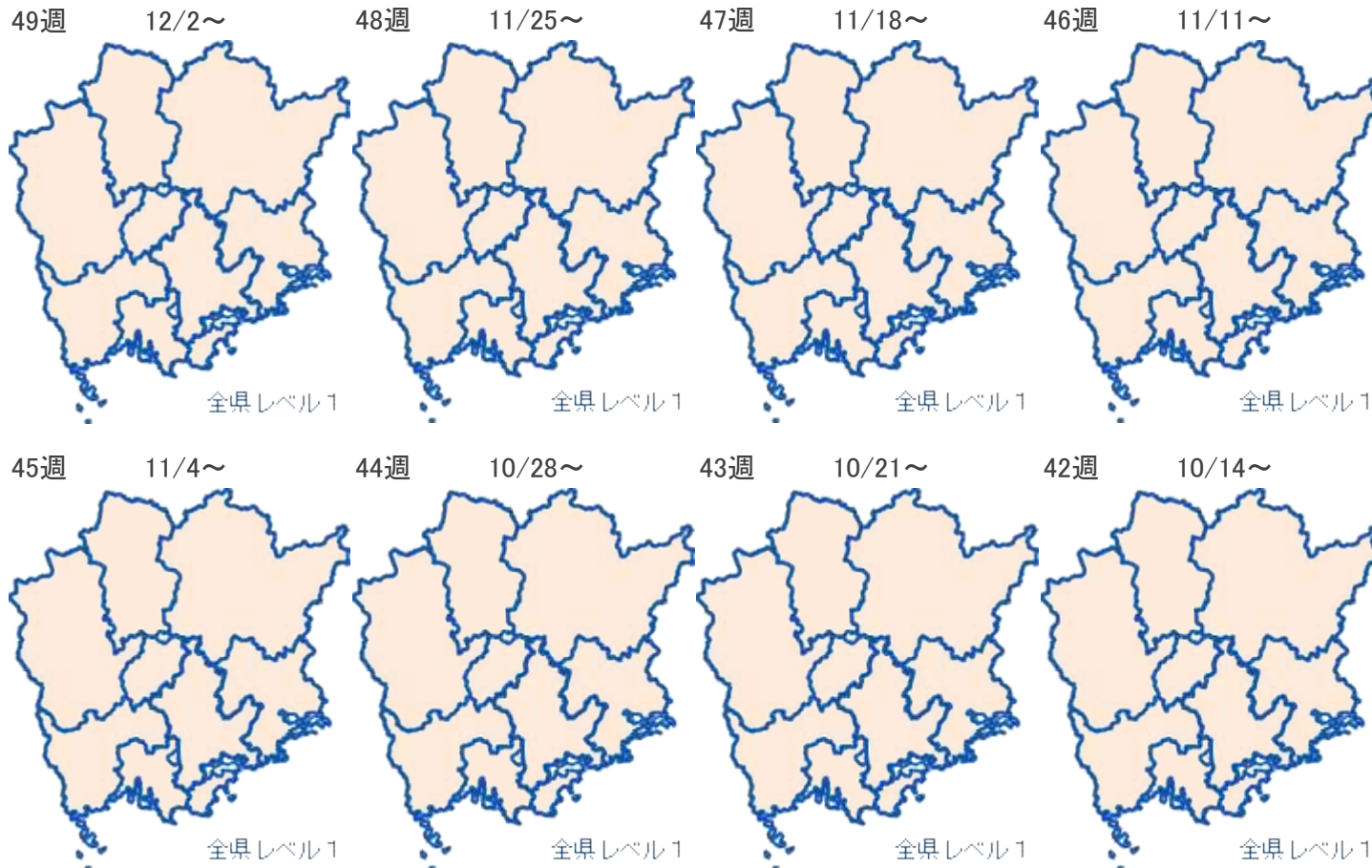
通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 49週

2013年12月11日

13:15:44



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。